

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
221331063	栄養教育論Ⅱ Nutrition Education Theory II	田中優成・西 彰子			2	必修	3前期
科目の概要							
管理栄養学科では、社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を基盤とし（DP2）、管理栄養士に不可欠な専門的知識・技能を修得するとともに（DP3）、人々の日常生活を健康の面から支援できる実践力を備えた人材の育成を目指している（DP4）。また、建学の精神を基盤として、社会人基礎力、pisa型学力、直観力、自然体を統合的に涵養し、社会の中で主体的に行動できる力を育むことを重視している（DP5）。それらを実現するために本科目では、対象者のライフスタイルや食環境を踏まえ、ライフステージごとに異なる栄養教育の考え方について理解を深めるとともに、栄養教育計画に基づいた栄養教育および栄養指導を展開するための方法を学修する。							
学修内容				到達目標			
① 各ライフステージにおける栄養教育の違いを理解する ② 各ライフステージにおける栄養教育内容と適切な情報収集の方法を理解する ③ 各ライフステージに合わせた栄養教育計画の立案方法を理解する				① ライフステージに応じた栄養教育のポイントを理解し、それぞれの違いについて説明できる ② ライフステージに応じて適切な栄養教育の方法を選択し、アセスメントによって得られた情報を適切に活用できる ③ ライフステージに応じて適切な栄養教育計画を立案することができる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	自ら予習し自発的に授業に取り組むことができる					
	働きかけ力						
	実行力	適切な情報源から情報を収集し、予習を行うことができる					
考え抜く力	課題発見力	授業内で理解できなかった自己の課題を発見し、自己の課題を認識して課題解決の学修に取り組むことができる					
	計画力						
	創造力	修得した知識・技能を最大限に活用して従来の常識や発想を転換し、新しい解決策を想起することができる					
チームで働く力	発信力	他者が見てもわかりやすく、理解してもらえるように、図表や表現を工夫して授業ノートをまとめることができる					
	傾聴力	他者とのディスカッションの中で、自分とは異なる新たな視点として受け入れることができ、それに対して返答をすることができる					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	授業内で決めたルールを遵守することができる					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
◎マスター栄養教育論 四訂 編著：佐藤香苗/安達内美子 出版社：建帛社 ◎栄養教育・栄養指導論演習・実習 [第3版] 編集：堀田千津子他 ◎Google NotebookLM 【オープンエデュケーション】 栄養教育ラーニングチャンネル https://www.youtube.com/@eiyo_kyoiku_learning							
他科目との関連、資格との関連							
【他科目との関連】 本科目は、「栄養教育論Ⅰ」で獲得した知識の活用方法を学ぶ。また、同時期に履修する「栄養教育論実習Ⅰ」と関連させながら、実践的な栄養教育方法の理解を深める。 【資格との関連】 管理栄養士 栄養士 栄養教諭							
学修上の助言				受講生とのルール			
栄養教育Ⅰで学んだ行動変容技法や応用栄養学Ⅰ・Ⅱで学んだライフステージによる違いを基本にしながら対象者によって異なる栄養教育を理解しましょう。同じ年齢でも個々の行動変容ステージや環境、性格等によりテーラーメイドの教育が必要になります。				「覚える」のではなく、「考える」ことがメインとなる科目です。他科目で学んだ知識を活用することが多いため、必ずこれまでに学修した内容を復習しておきましょう。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	60	①	✓	【持ち込み不可】 授業で獲得した知識を用いて管理栄養士国家試験相当の問題を解けるか、また、それらの知識を活用して対象者の課題解決のための適切な栄養教育計画を立てられるかを筆記試験で評価する。 発揮するpisa型学力の構成割合 (獲得) 20% (活用) 40% (解決) 40%	
				②	✓		
				③	✓		
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
		レポート	30	①	✓		ライフステージに応じて作成する栄養教育計画を評価する。 田中担当回：計3回（15点）／西担当回：計4回（15点） 発揮するpisa型学力の構成割合 (獲得) 0% (活用) 50% (解決) 50%
				②	✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①					
		②					
		③					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	(主体性) 自発的に予習に取り組むことができる (実行力) 粘り強く取り組むことができる (課題発見力) 情報収集や分析をして、課題を明らかにすることができる (創造力) PCRシートに新しい解決策を想起することができる (発信力) PCRシートの図表や表現を工夫することができる (傾聴力) ディスカッション時にしっかりと発言し、意見を聴き入れることができる (規律性) 授業で決められたルールを遵守することができる		
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
対象者に応じた栄養教育を立案及び学修した知識を使って適切な栄養教育の実施ができる。また、適正な栄養教育のポイントをまとめることができ、学修成果及び学修行動の得点率が90%以上をS、80%以上をAとする。	適正な栄養教育のポイントをまとめることができ、学修成果及び学修行動の得点率が70%以上をB、60%以上をCとする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「オリエンテーション」(田中) 授業の運営、目標、評価方法等を理解し、栄養教育Iで学修した栄養教育マネジメント、行動変容技法を復習する	講義	栄養教育の種類と特徴、アセスメント項目について理解する	【予習】 栄養教育の種類や手法を見直す 【復習】 栄養教育マネジメントサイクルの流れを確認する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	「ライフステージ別栄養教育(傷病者)①」(田中) 傷病者の特徴・アセスメント項目・栄養教育のポイントを学修する	講義 ディスカッション	傷病者の特徴と栄養教育の留意点ができる	【予習】 ①傷病者(特に糖尿病や高血圧など)の特徴を理解する ②傷病者に利用できるツールを調べておく 【復習】 傷病者の栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	「ライフステージ別栄養教育(傷病者)②」(田中) 糖尿病・高血圧の集団栄養教育演習	演習 グループディスカッション	傷病者に対する適切な栄養教育計画を立案できる	【予習】 傷病者(特に糖尿病や高血圧患者)への栄養教育計画を考案する 【復習】 演習課題に追記し、栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	「ライフステージ別栄養教育(アスリート)①」(田中) アスリートの特徴・アセスメント項目・栄養教育のポイントを学修する	講義 ディスカッション	アスリートの特徴と栄養教育の留意点ができる	【予習】 ①アスリートの特徴を理解する ②アスリート(特に陸上選手)に利用できるツールを調べておく 【復習】 アスリートの栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	「ライフステージ別栄養教育(アスリート)②」(田中) アスリートの集団栄養教育演習	演習 グループディスカッション	アスリートに対する適切な栄養教育計画を立案できる	【予習】 アスリート(特に陸上選手)への栄養教育計画を考案する 【復習】 演習課題に追記し、栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	「ライフステージ別栄養教育(高齢期)①」(田中) 高齢期の特徴・アセスメント項目・栄養教育のポイントを学修する	講義 ディスカッション	高齢期の特徴と栄養教育の留意点ができる	【予習】 ①高齢期の特徴を理解する ②高齢期に利用できるツールを調べておく 【復習】 高齢期の栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	「ライフステージ別栄養教育(高齢期)②」(田中) 高齢期の集団栄養教育演習	演習 グループディスカッション	高齢者に対する適切な栄養教育計画を立案できる	【予習】 高齢者への栄養教育計画を考案する 【復習】 演習課題に追記し、栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	「ライフステージ別栄養教育(妊娠期/授乳期)①」(西) 妊娠期/授乳期の特徴・アセスメント項目・栄養教育のポイントを学修する	講義 ディスカッション	妊娠期/授乳期の特徴と栄養教育の留意点ができる	【予習】 ①妊娠期/授乳期の身体的・心理的特徴を理解する ②妊娠期/授乳期の対象者に利用できるツールを調べておく 【復習】 妊娠期/授乳期の栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「ライフステージ別栄養教育(妊娠期/授乳期)②」(西) 妊娠期/授乳期の集団栄養教育演習	演習 グループディスカッション	妊娠期の集団栄養教育計画が立案できる	【予習】 妊娠期/授乳期の集団栄養指導を考案する 【復習】 妊娠期/授乳期の栄養教育のポイントを追記する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	「ライフステージ別栄養教育(乳・幼児期)①」(西) 乳・幼児期の特性に基づいた栄養教育を学修する	講義 ディスカッション	乳・幼児期の特性に応じた栄養教育方法がわかる	【予習】 ①乳・幼児期の特性を理解する ②乳・幼児期に利用できるツールを調べておく 【復習】 乳・幼児期の栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	「ライフステージ別栄養教育(乳・幼児期)②」(西) 乳・幼児期の栄養教育演習 <偏食を改善する環境づくり> <食物アレルギー児を対象とした個別指導>	演習 グループディスカッション	乳・幼児期(養育者を含む)の栄養教育計画が立案できる	【予習】 乳・幼児期の対象者(養育者を含む)への栄養教育計画を考案する 【復習】 演習課題に追記し、栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	「ライフステージ別栄養教育(学童期/思春期)」(西) 学童期/思春期の特性と栄養教育の展開 学校で行われる食育を学ぶ	講義 ディスカッション	学童期/思春期の特性に応じた栄養教育方法がわかる	【予習】 ①学童期/思春期の特性を理解する ②学童期/思春期に利用できるツールを調べておく 【復習】 学童期/思春期の栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	「ライフステージ別栄養教育(成人期)①」(西) 職域(成人期)における栄養教育を学ぶ 職域の食環境整備方法を考える	講義 ディスカッション	職域(成人期)の特徴と食環境整備方法がわかる	【予習】 ①成人期の特性を理解する ②成人期に利用できる制度や、教育ツールを調べておく 【復習】 成人期の栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	「ライフステージ別栄養教育(成人期)②」(西) 特定保健指導(個人を対象とした栄養教育)演習	演習 グループワークディスカッション	成人期の栄養教育計画が立案できる	【予習】 ①特定保健指導方法を調べておく ②栄養カウンセリング手法を復習する 【復習】 特定保健指導のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	「まとめ」(田中) 各アセスメント項目・栄養教育のポイントを復習し、それぞれの栄養教育の違いを考える	講義 Google Classroom NotebookLM	それぞれのライフステージによる違いを説明できる	【予習】 理解できていない項目を整理しておく 【復習】 ライフステージによる栄養教育のポイントの違いをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力